

2021.12  
No.22

# K・B通信

キッチン・バス工業会と会員の皆様をつなぐ

広めよう  
11月2日は  
キッチン・バス  
の日



【工業会界隈の名所旧跡】■旧芝離宮恩賜庭園(東京都港区海岸1-4-1) 江戸期の大名庭園(回遊式庭園)。大久保忠朝(老中)が、四代将軍・徳川家綱からこの地を拝領し、屋敷内に作庭した「楽壽園」がはじまり。明治になって有栖川宮邸となり、後に宮内省が買い上げ芝離宮となった。現在は都立庭園として一般に公開されている。  
(写真提供:旧芝離宮恩賜庭園)

## CONTENTS

記事名をクリックすると該当ページに飛びます。

### ■ 巻頭言

『K・B通信』No.22発行にあたり ..... 2

### ■ 工業会情報

2022年度 公式行事 ..... 2

### ■ 特集

東京大学 生産技術研究所 野城教授にインタビュー ..... 3

### ■ 工業会情報

2021年度 全員懇談会 ..... 8

2021年度 第2回 理事会 ..... 9

2021年度 第1回 会長報告会 ..... 9

代表者変更のお知らせ ..... 10

### ■ TOPICS

「11/2 キッチン・バスの日」記念 第17回 川柳入賞者表彰式典を開催・13

### ■ 統計情報

2021年度上期 自主出荷統計 ..... 16

### ■ 会員情報

創業・設立記念 ..... 17

会員企業はスポーツでも、頑張りました! ..... 19

### ■ 団体会員情報

第10回「住宅部品点検の日」シンポジウムを開催 ..... 21

暮らし創造研究会制作冊子「GOOD LIFE」のご紹介 ..... 22

### ■ 行政情報

こどもみらい住宅支援事業を創設、他 ..... 23

### ■ 委員会活動

2021年室内環境学会学術大会に参加しました ..... 23

### ■ VOICE

秋野顧問弁護士から ..... 24

### ■ 事務局から

事務局から ..... 25

編集後記 ..... 26

## 巻頭言

### 『K・B通信』No.22発行にあたり

平素からキッチン・バス工業会の活動にご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当工業会では昨年に引き続き、理事会、定時総会、全員懇談会をオンライン中心で無事に開催することができました。いろいろと制約の多い中、工業会活動を支えておられる事務局並びに各委員会の皆様に感謝いたします。

さて新型コロナウイルスの感染拡大後、人々の生活スタイルは大きく変化してきたと思います。ニューノーマル時代の到来、感染リスクを低減するためのソーシャルディスタンスをはじめ、ビジネスにおいてもテレワークやオンライン研修、リモート商談など、その変化が当たり前になってきています。

工業会の使命は、『国民の住生活文化の向上と住宅産業の振興』の理念のもと、その変化に対応した住空間、住

宅設備を提供し、人々のより良い生活を実現していくことだと思います。

新築着工の減少・材料高騰など、逆風の状況は続きますが、会員企業の皆様と共に活動し、住宅設備業界の発展に努めさせていただきたいと思います。

また工業会の益々の発展を祈念いたしまして巻頭のご挨拶とさせていただきます。



キッチン・バス工業会 副会長  
パナソニック株式会社  
水廻りビジネスユニット長  
松下 芳朗

## 工業会情報

### 2022年度 公式行事(2021年12月20日現在)

工業会行事日程	行事内容
2022年 1月13日(木)	2022年 新年賀詞交歓会(17:00~19:00) *運営諮問会議(15:30~16:30)【東京會館本館】
2022年 4月21日(木)	2022年度 第1回理事会(15:30~16:50)【東京會館本館】
2022年 5月26日(木)	2022年度 定時総会・第1回全員懇談会／懇親パーティ (17:00~18:30／18:45~20:00)【コートヤード・マリオット銀座東武ホテル】
2022年 5月27日(金)	懇親ゴルフ会【相模原ゴルフクラブ】
2022年 9月15日(木)	第2回 全員懇談会／懇親パーティ (14:30~16:15／16:30~18:00)【リーガロイヤルホテル京都】
2022年 9月16日(金)	懇親ゴルフ会【城陽カントリー倶楽部】
2022年 11月 2日(水)	「キッチン・バスの日」式典 第18回 川柳優秀作品表彰式(14:00~16:00)【日本工業倶楽部】

## 特集

## 東京大学 生産技術研究所 野城教授にインタビュー 「住宅設備機器業界の今後の展望について」

—2021年10月14日(木)東京大学 生産技術研究所にて—

これまでキッチン・バス工業会(以下、工業会)は、野城智也教授より、全員懇談会(京都)での講演、40周年・50周年両記念誌への寄稿など、ご尽力・ご示唆いただいております。

加えて、本誌の新企画として特集を組むに当たりインタビューを申し入れたところ、ご快諾いただきました。

現在(2021年11月末)、緊急事態宣言は解除されたものの、コロナ禍へのさらなる対処、新しい生活様式への対応、近年大規模で甚大となる自然災害への備えなど、住宅設備機器業界は様々な課題を抱えています。こういった状況下において、当業界の新たな可能性を広げるためのご意見をお聞きました。

聞き手:キッチン・バス工業会 常務理事 越道 昭徳



野城教授(左)と越道常務理事(右)

### 新しい変化で、需要は確実に起きている！

**越道常務理事** コロナ禍で、暮らしが大きく変容しました。コロナ禍は逃げ場のない災害といえます。密回避が必然となり、会食禁止、外出規制など、日常生活において、自宅での滞在時間が増えました。

変容した社会生活、新しい生活様式の中で、住宅設備機器に関わる団体・メーカーはどう対応していけばいいのでしょうか？

**野城教授** 在宅時間が伸びたということは、在宅勤務によって通勤時間が消えたという大きな変化が起きました。

この消えた時間を何に使うかの中で、ゆっくり食事を楽しむこと、自分で調理をする人が確実に増えています。一方、昔と違って、日本人全体の5割、6割の人が等しく同じことをすることはありません。2割ぐらい新たな種類の需要があれば、会社としては十分向き合うべきです。新しい需要は確実に起きています。

これまで、100万戸・200万戸という新設着工戸数を母数と考えていく発想がありました。現在、仮に日本の世帯数が

3,000万世帯とし、その5%の価値観が変わると150万世帯の潜在需要になっていく。

そういう意味では、例えばキッチンであれば、どのくらいの皆さんが自分で作る楽しみを考え始めたかということは、無視できない変化です。

### 生活者の変容察知「あるといいな」を考える

**野城教授** レトルト食品が活躍し始めたり、刻んだ玉ねぎ、皮が剥かれた芋などの半完成の食材の売れ行きが良いと聞いています。個人としての食体験が多様化し、これも、決して見逃してはいけない変化です。

例えば、昔は誰も見向きもしなかった低温調理を今はする人が増えていますし、低温調理とは逆のオーブンでじっくり焼くという調理の需要も確実にあります。一方で、何でも電気仕掛けで調理ができる高機能な電子レンジも広く利用されています。それを敵とみるのか、高機能電子レンジがある台所も工業会の世界と考えていくのかで世界観が変わります。一緒にキッチンを構成してやっていける目線が大切です。電気だけでなく、ガスでご飯を作るおいしさを多くの人に味わっていただきたい思いもあります。

食体験において、コロナ禍の中でこれまで顧みなかった何かを人々が感じ始めています。それを仕事の中にアライアンスを含めて取り入れていくかです。

工業会は最終製品を作っている会社から、キッチンのコンポーネントを作っている会社などす野は広い。他と組んでいくという気持ちを、発想を変えれば持てるはずです。

あくまで生活者の視点で、自分の会社を離れて、厨房にいる自分、お風呂にいる自分、洗面化粧台の前にいる自分を想像してください。そこに何が組み合わさっていくと楽しいかな、ということを素直に考え、「あるといいな」と思った何かを

持つ相手先とは、お客様目線からみれば、シームレスにつながっていけるようなことを、過去はさておき、未来志向で一緒に考えるのは良いことです。

### サービスを含めたハードウェアを売る

**越道常務理事** コロナ禍の中、巣ごもりによって潜在ニーズが広がっている。それに対処するには、一社単独で思考するだけでなく、協業も選択肢として検討することが大切なわけですね。

**野城教授** ハウスメーカー・工務店が、会員会社を専門工事業者として認識されるのではなく、クオリティーを上げ、生活を豊かにしたいという需要に対して、パッケージにしたサービスを提供していくパートナーとみなしていただけるといいですね。

中食のサービスとつなげてもいい。調理手間のかからない調理済の食材を提供しているサービス側は会員会社の皆さんの味方になるはず。"炒める、蒸す"など、ある程度下ごしらえした食材のサービスをしている人たちと組むことで、家庭ではできない料理が提供でき、住まい手も企業も皆がハッピーになります。

ハードウェアだけでなく、サービス含めて売る発想が必要です。

### サービスをデザインする人材育成

**越道常務理事** メーカーの目線というのは、お客様が使ってどうかという視点ではありますが、どうしても視野が狭くなりがちです。視野を広げて協業できるところは協業して、1社であれば1つの提案であるが、2社であれば3つの提案ができるという発想ですね。

**野城教授** 皆さんの会社のデザイナーは、いわゆるプロダクトデザインをしているでしょう。加えて、サービスのデザインをするような人材・力も育てていった方が良いでしょう。

Design-Led Xという広い意味でのデザインの思考法を展開していく教育研究組織を5年前に作りました。柔らかく頭でいろいろなアイデアを練り見直していく能力をいろんな形で構築していく成果を出し始めています。

<https://www.dlxdesignacademy.com/about>

**越道常務理事** いろんなヒントをいただいてきました。少しずつ頭を柔らかくしないとイケませんね。"サービスのデザイン"ということが大事なワードだと思いました。

**野城教授** 「社内の人材がいなければ」といって、コンサルティングやデザイン事務所に丸投げでは、自社に何も能力が残っていない。良い相手と一緒に取り組みながら体験を通

じて能力を身に付けていく、内部で人材を育てていくことが大事です。各社には眠った力はあります。

**越道常務理事** 人材育成も大事なキーワードですね。

### 大規模災害への対処・早期復旧

**越道常務理事** 最近自然災害が多くなっています。工業会では、応急仮設住宅の設備品納入の役割を担っています。

南海トラフ大地震では、応急仮設住宅が220万戸必要との内閣府の見解があります。一般社団法人プレハブ建築協会では、みなし仮設(空きのアパートなど)を踏まえても、新規に85万戸が必要と試算しています。1年間に10万戸建設しても10年程かかります。大規模災害を想定し、住宅設備機器が備える機能、早期復旧の施策をどう考えますか？

**野城教授** 南海トラフ規模の大地震になると厳しいが、大規模災害時は応急仮設だけでなく、みなし仮設が必要です。また地域間の移住みたいなことを含めて日本全体でのシェルター、空き家活用をしていかなければなりません。

それぞれの会社が売りっぱなしではなく、ICT、IoTを介して、自社が売った商品がどこにあって、どのように使われているのか分かるといい。建設機械・K社の稼働管理システムのようなことをすることが選択肢になります。工場が稼働停止になっていても「今どこに未使用のユニットバスがあるのか」という情報が大切です。

災害時"シャワーを浴びられる" "調理ができる"などは、被災者にとってひと心地つくことです。IoTが入ると、出荷した商品の場所や使われている情報が整っていきます。ここに使われていない物があるという情報は、自治体としてはありがたいことです。

### 設備品のトレーサビリティ

**越道常務理事** 思いつかないすごい発想ですね。トレーサビリティをきっちり整えていくことが必要だということですね。

**野城教授** 全数把握しなくても、各自治体に「使われていない、壊されていないものがあるはずなので、これを参考に救援



野城教授

を考えてはどうか]の情報提供をすることは、ハードウェアを届けるまでにできれば良いのではないかと思います。まず、販売済みストックを活用し何でも使っていくという発想が必要です。

もう一つは、全部はできないが、インフラが来ない場合でも何かできるユニットがあってもいい。特殊仕様かもしれないので、数は出せなくても避難施設にあるだけでもいいし、避難場所になるところにシャワーユニット・ユニットバスを配っておくだけでも、ずいぶん避難者のQOL(生活の質)は変わります。

私の研修室出身の前田瑤介君が、起業した会社で水を循環して手洗い・洗面ができる装置を販売しています。(WOTA)この発想から、シャワーは無理にしても災害時における最小限の身づくろいや調理をするために、インフラがない場合でも使用できる循環の水を利用したユニットができる可能性がある。1社ではなく何社かが集まり工業会で共同開発して、避難場所などに設置すれば社会貢献ができます。

工業会が音頭をとってやるのがいい。国土交通省、経済産業省と協定を結びながら開発し、共同生産をすることはあり得るでしょう。

**拠点で使える災害用品を業界で思考する**

**野城教授** 前田君だけでなく、そういう発想で行動する頼もしい若い人たちがいる。スタートアップ企業になるかもしれない。皆さんの企業の中ですというよりは、工業会でアイデア募集をして筋が良いものに対して会員企業が投資し開発をする。災害時のユニットのようなものを公募し、工業会の中で審査し、良ければ商品開発していければいい。行政のバックアップも望まれるところです。

いざ災害が起きた時に10万台(のユニットバスを)生産する体制構築も大切ですが、多く売れるわけではないが、インフラがダメになった時に機能する災害用品(ユニット)と一緒に開発していく発想は大事だと思います。

**越道常務理事** 確かに災害が起きた時、必ずインフラが一番に問題になりますね。



越道常務理事

**野城教授** 災害が起きて、すぐには皆さんの会社の商品が使えませんということもあるでしょう。少しでも被害軽減、救援に対応するためには、災害の拠点で使えるようなユニットが必要になります。そういう発想にたてば、会員会社の皆さんも通常品にこういう機能を入れておけばいいのではという発想も出てくると思います。

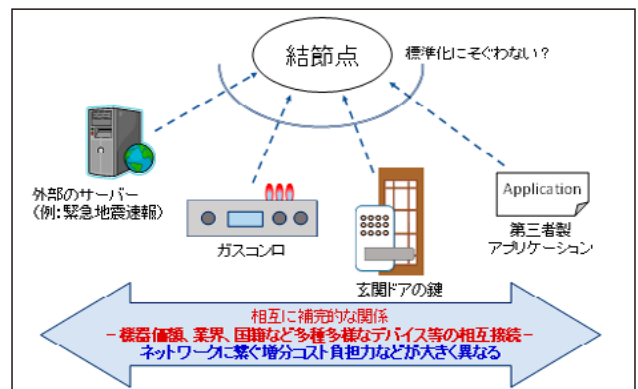
こういうスタディーをすることで、普通に売っている商品にも非常対応機能を入れ込んでいくことも選択肢になっていくと思います。

**IoTの活用**

**越道常務理事** IoTについてですが、インターネットを介して外出時の玄関ロック機能や子どもやペットの見守りなど、いろいろな活用方法がありますが、我々の箱物(キッチン・浴室・洗面化粧台)に対して、どうIoTを活用していけば良いでしょうか。

**野城教授** 変換プログラムであるドライバーを介して異なるメーカーの機器を横繋ぎするため「IoT-Hub」という仕組みを提案しています。

例えば、外出した時にガス機器を消すというIoTのコマンドは、関係のない企業が書いたプログラムでも消火操作できるのは許せると想像されますが、着火する操作はあり得ない(そもそも法令上ダメですが)。ドライバーのプログラムを書く際に、会社の組み込みシステムに入れた機能を全てを開放することは必要なく、ある機能については外部からのコマンドでは接続ができないという選択ができます。ガス機器の制御については、エッチ側(端末と端末側のネットワークで収集したデータを回線に送り出すポイント)である機器に入っている組み込みソフトの全てのコマンドに、外部から接続ができるという世界は未来永劫ないでしょう。かといって、全く、外部からのコマンドを受け付けないというのもナンセンスです。



出典:東京大学生産技術研究所ホームページトピックスより

昔のようなスイッチとかねじとか力学的な機能の制御ではなく、製品の制御が組み込みソフトによるソフトウェア制御

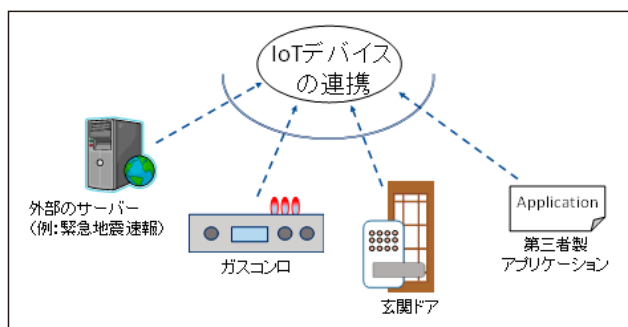


に頼るようになってきている。その中の“どの機能は外部とつなげていいか”“どれはダメにするか”の選択が大事になっています。その選択がはっきりできていれば、「IoT-Hub」の仕組みでも、別の仕組みでも、何らかの方法で他社製品とIoTで機能連携させる際に後悔のないつなぎ方ができるはずです。

組み込みシステムの中にある制御のどれを外部開放し、どれを自社だけに閉ざすか、ガス製品は分かりやすい。法令上決まっていますし、安全が関わってくるから保守的であるべきですが、外部からのコマンドで消火できることくらいはあっても良いと思います。

### サービスを作る時のポジションはどこか？

**野城教授** サービスを作っていく際に、皆さんのポジションをどう考えるかです。スマートロックとガスコンロを連携させたり、ベッドの下に置いたセンサーと連携させたりするようなアプリケーションサービスを作る人たちは、外部ではなく会員会社自らがやっていってもいい。



出典：東京大学生産技術研究所ホームページトピックスより

それぞれの会員会社の皆さんがこれから自分たちの中長期的な経営計画に中でこうやっていこうと決心さえすれば、IoTのソフトウェアを開発する企業とパートナーを組むなり、買ってくるなり、外部の能力を活用する方法はいくらでもあります。その場合でも、決して受け身になってはいけません。そうしないと、インターネット関連サービス企業が食材サービスを

作って、皆さんがデバイスとしてのキッチンを売り続けているばかりという状況は、もったいないし、悔しい感じがする。IoTを活用し、最初に皆さんが食材サービスを作ってしまう立場になればいいと思います。

### ローカルの力を活かす

**野城教授** 販工店、工事をする会社は決して大きな会社でないところが多くて、逆に地域に根を張っておられます。地域の青果店、酒店、ローカルなスーパーの人たちはいろんなネットワークがあり、その人たちと新しいサービスを作っていくことができる仕掛けを考えていくといいでしょう。サービスのデザインのなかで、自分たちの製品機能のどこを外部のサードパーティのソフトウェアでもいじられるようにするかを決め、バスやキッチンの組み込みソフトや「IoT-Hub」につなぐためのドライバーに作り込んでいくことです。

皆さんの強みは、会社は全国区であるが、パートナーの販工店はローカルなので、その人たちのローカルな力を活かしていった方が良いでしょう。インターネット関連サービス企業は回線から入ってくるが、皆さんは、路地裏をおさえている人たちのパートナーとしています。それで、パートナーの人たちも活躍していただけます。スーパーのパックではなくて、鮮魚店のように「何枚おろしにして」というと持ってきてくれるサービスには、いまのところは、インターネット関連サービス企業は入り込めない世界です。食材などは流通のラストワンマイルにいろいろな工夫の余地があります。

### 工業会への期待

**越道常務理事** 最後になりますが、キッチン・バス工業会に期待されることは何でしょうか？

**野城教授** キッチン・バス工業会はキッチン・バスを作っている会社だけでなく、そこに部品も納めているメーカー、エネルギー企業も参加しています。そうやって広げてきた気持ちを、このデジタルが入ってきた時代に展開していくと、自然体で明日のパートナーが見つかっていくはずですよ。

皆さんの製品の組み込みソフトを作っている人たちがいる。その人たちに、エッジ側の組み込みソフトだけではなく、ネット側から制御できるソフトのプログラムを書いてもらうなど、成長の素地はあります。業態が固まっていると、そういう発想はできませんが、これまで培ってきた中で違う業態の会社同志がやってきた工業会の歴史を大事にすると良いように思います。

もう一つは、皆さんが作られた製品がどう使われているかというデータがインターネット関連サービス企業に流れてい



くのではなく、皆さんの方に流れ活用していくようにした方が良い。データを集めるコストは安くなっています。データの分析は、皆さんの新たなサービス創造に結びつきます。

個人情報の話はありますが、製品保全のためにデータを取っているということで、製品を売る時に、お客様の了解は取りやすいでしょう。その情報を皆さんが利活用し、製品サービス・保全だけでなく、ある人たちにとっては宝の山の情報になります。それが、お客様の良いサービスになっていけば、お客様の理解が深まります。皆さんにとっての強みになるし、良いサービスが生まれる手掛かりになります。「いつお風呂に入っている」というデータは、不安定な再生可能エネルギーを使い回すうえでは、大事なデータになります。

売りっぱなしではなく、どう使われているかの情報は明日の価値を生む源にもなりますし、新たなサービスを創造していくためにも大事です。

**越道常務理事** 多方面にわたり、大切な示唆をいただくことができました。少しでも前進できるよう工業会活動への活かし方を考えていきます。ありがとうございました。



野城教授とインタビューに同行した広報専門委員。  
左から、柴崎編集長、越道常務理事、田中部長、  
神谷広報専門委員長、平川広報副委員長(取材時点)

### 野城智也(やしろともなり)教授のプロフィール

東京大学生産技術研究所 教授・工学博士

1957年 東京都生まれ

85年 東京大学大学院工学系研究科建築学科  
専攻博士課程修了(工学博士)

85～86年 建設省建築研究所研究員

86～87年 建設省住宅局住宅建設課係長

87～90年 建設省建築研究所研究員

90～91年 建設省建築研究所主任研究員

91～98年 武蔵工業大学建築学科 助教授

98～99年 東京大学大学院工学系研究科社会基盤  
工学専攻 助教授

99～01年 東京大学生産技術研究所 助教授

2001年～ 東京大学生産技術研究所 教授

06年 日本建築学会賞を受賞～持続可能性の向上  
に資する建築生産のあり方に関する研究～

07～09年 東京大学生産技術研究所 副所長

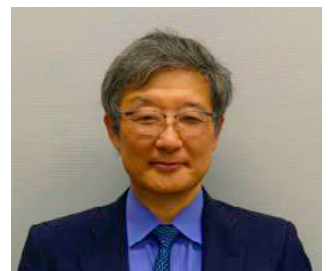
09～12年 東京大学生産技術研究所 所長

13年～16年3月 東京大学 副学長

### 【好きなこと、など】

- ・飲酒を少々。
- ・昔、ラグビーをしていたので、少し走ったり、スポーツ観戦。
- ・シチュー、カレーなど、混ぜる実験的な料理作り。魚はおろさない。作った料理は、妻と一緒に楽しむ。食後、食器を食器洗い乾燥機に入れて片付けると、妻は「食卓、調理で散らかした台所回りを含めて片付けないと片付けではない」と一言。
- ・推理小説の読書や、昔読んだ小説を読み返すこと。ノウハウ本、堅苦しい本は読まない。
- ・状況が変われば、演劇、ミュージカルに行く。
- ・若いころ影響を受けたこととその理解

「人間至る処に青山有り」：  
生身の人間には残念だ、  
困ったなど、いろいろある  
が“人生ってどこにでも活  
躍できる、見方を変えれ  
ば役に立てるところがあ  
る”って思い直す。



## 工業会情報

### 2021年度 全員懇談会

2021年度の全員懇談会は、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が9月末日まで延長されたことを受け、昨年同様、京都会場での開催は中止となり、9月16日(木)、58社の企業、団体の代表者の皆様にオンライン形式でご参加いただき開

催されました。Zoomを利用した全体会議は4度目ということもあり、スムーズな運営で進めることができました。

なお、翌日開催の城陽カントリー倶楽部での懇親ゴルフは2年連続で中止になりました。

#### 次 第

開 会 挨 拶：会長 小泉和弘(トクラス株式会社 代表取締役社長)

来 賓 ご 挨 拶：経済産業省 製造産業局 住宅産業室長 原田富雄 様

新任役員挨拶：副会長 松下芳朗(パナソニック株式会社 水廻りビジネスユニット長)

理事 廣澤正峰(株式会社ノーリツ 取締役兼専務執行役員)

新代表者挨拶：ブレクス株式会社 代表取締役社長 白坂富美夫

東邦ガス株式会社 取締役専務執行役員 家庭用営業本部長 鳥居明

日鉄ステンレス株式会社 営業本部薄板第一営業兼薄板第二営業部長 中原耕治

大日本印刷株式会社 執行役員 生活空間事業部長 松村弘之

ジェット噴流バス協議会 会長 平川昌也

一般社団法人 日本ガス石油機器工業会 専務理事 猪股匡順

一般社団法人 リビングアメニティ協会 専務理事 加藤永

東京電力エナジーパートナー株式会社 お客様営業部 アライアンス担当部長 上田晋也

(新代表者)お客様営業部 電化推進担当部長 山川和美

今年度委員長紹介：(自己紹介) 常設委員会/特別委員会 各委員長

特 別 報 告：(1)2021年度自主出荷統計報告、(2)物流課題特別委員会活動報告、(3)グリーン住宅ポイント制度進捗状況報告、

(4)中小企業等経営強化法証明書発行実績報告、(5)事務局報告

閉 会 挨 拶：副会長 大西博之(株式会社LIXIL 執行役専務 LIXIL Water Technology(LWT) Japan担当)

#### Web参加者の中から



小泉 会長



経済産業省 原田 室長



工業会会議室



参加者 社名・氏名



大西 副会長



## 2021年度 第2回 理事会

2021年度第2回理事会が開催されました。

日時:2021年11月2日(火)16:10~16:50

場所:日本工業倶楽部会館

出席:19名中13名

議事【1号議案】2022年 賀詞交歓会開催について

【2号議案】2023年 賀詞交歓会

開催日程及び会場選定について

【3号議案】2022年度 第1回理事会

開催日程及び会場選定について

【特別報告1】物流課題特別委員会 進捗報告

【特別報告2】3R事例集 報告

【特別報告3】安全確保のための表示実施要領改訂 報告

【事務局報告】2022年 公式行事日程 他

2年にわたり中止となった賀詞交歓会に関し、リスクを抑えた交流行事のあり方について審議が行われました。10月に入ってから新型コロナウイルス感染症の減少が続いていますが、冬本番を迎えるにあたり、今後の感染状況を踏まえて判断することが確認されました。



小泉 会長

## 2021年度 第1回 会長報告会

2021年度第1回会長報告が、9月8日(水)キッチン・バス工業会会議室で開催されました。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言下のため縮小開催とし、常設6委員会、特別委員

会の委員長が工業会会議室やオンラインで参加しました。小泉会長は越境制限のためオンラインでの参加となりました。

会長報告会議事次第

1.小泉会長挨拶

2.各委員会進捗報告

- (1)総務委員会(伊藤委員長)
- (2)技術委員会(キッチン・洗面:清水委員長)
- (3)調査統計委員会(垣田委員長)
- (4)PL関連委員会(平川委員長)
- (5)情報化推進委員会(村上委員長)
- (6)消費者関連委員会(関委員長)
- (7)中企税特別委員会(酒井委員長)
- (8)グリーン住宅ポイント制度特別委員会(小林委員長)
- (9)物流課題特別委員会(藤田委員長)
- (10)電気式浴室換気乾燥暖房機啓発委員会(駒谷委員長)

3. 共通報告事項(事務局)

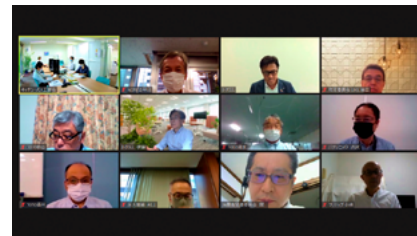
- (1)省エネ法改正
- (2)川柳事業関連
- (3)公式行事スケジュール

4. 事務局報告

- (1)第17回「台所・お風呂の川柳」事業について
- (2)次年度公式行事・委員会日程・委員長名簿等



小泉 会長



Web参加の方々



工業会会議室

## 代表者変更のお知らせ ※社名・団体名五十音順

ジェット噴流バス協議会  
会長  
**平川 昌也**  
(ひらかわ まさや)



2021年度ジェット噴流バス協議会会長の平川昌也でございます。  
当協議会は2000年12月にジェット噴流バスをご使用中の重大製品事故発生を機に設立し21年になりますが、この間吸込み

口カバーの無料交換、安全基準の制定、ジェット噴流バスの普及拡大の3点を目的として活動を進めてまいりました。吸込み口カバーの無料交換は2000年12月から開始し、2021年9月末には対象台数229,697台に対し86.8%まで終了しました。

また、2003年8月の消費生活用製品安全法改正に対しては技術上の基準制定に際して協議会に協力要請があり、製品安全文化構築に大きく貢献できました。

今後も製品安全推進会議のひとつとして工業会発展に尽力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## DNP

大日本印刷株式会社  
執行役員 生活空間事業部長  
**松村 弘之**  
(まつむら ひろゆき)



この度、キッチン・バス工業会の弊社代表に就任いたしました

生活空間事業部の松村弘之でございます。

平素は、会員各社様には格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

弊社は「P&I」(印刷と情報)の強みを掛け合わせ、持続可能でより快適な空間づくりを志して活動してまいります。

今後とも工業会の皆様とともに、工業会の発展に取り組んでまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## TEPCO

東京電力エナジーパートナー

東京電力エナジーパートナー株式会社  
販売本部 お客さま営業部 部長(電化推進担当)  
**山川 和美**  
(やまかわ かずみ)



この度、キッチン・バス工業会の東京電力エナジーパートナー株式会社代表に就任いたしました山川でございます。

平素より会員各社の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼

申し上げます。

弊社は、ESG(環境・社会・ガバナンス)の観点においても、長年培ってきた技術・ノウハウを活かした省エネのご提案を通じ、環境負荷の軽減やサステナブルなエコシステムによる地域社会への貢献を果たしていくとともに、お客さまの期待に応え、お客さまから信頼いただけるパートナーであり続けることを目指してまいります。

今後とも会員の皆様とともに、工業会の発展に向け微力ながら精一杯取り組んでまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 代表者変更のお知らせ ※社名・団体名五十音順

あしがすてきに!



東邦ガス株式会社

取締役専務執行役員 家庭用営業本部長

**鳥居 明**

(とりい あきら)



この度、キッチン・バス工業会の弊社代表に就任いたしました鳥居でございます。平素は会員各社の皆様には格別のご高配を

賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社はエネルギー事業者として、愛知・岐阜・三重の3県において都市ガス・LPガス・電気を供給しており、ガス機器、水回り設備の販売店「ENEDO」、新たなリフォームブランド「わが家のマイスター」とともに、地域のお客様に最新のキッチンやバス等をご提案しております。

キッチン・バス工業会のますますの発展に向け、今後も精一杯取り組んでまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしく御礼申し上げます。

## 日鉄ステンレス株式会社

日鉄ステンレス株式会社

営業本部薄板第一営業兼薄板第二営業部長

**中原 耕治**

(なかはら こうじ)



この度、キッチン・バス工業会の弊社代表者に就任しました中原です。平素より会員各社様には弊社製品をお引き立て賜り、心より御礼申し上げます。

弊社は日本製鉄のステンレス事業分社会社であり、日本製鉄グループ力を挙げて、優れた耐食性・意匠性はもちろんのこと、レアメタル削減による価格安定性や、軽量化・抗菌等の新しい機能、環境にやさしいリサイクル性、更には脱炭素社会に向けた取り組みも含めての「優れたステンレス製品」を供給してまいりたいと考えております。

キッチン・バス工業会会員様と一緒に、当工業会の発展に貢献できるよう取り組んでいく所存でございますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしく御礼申し上げます。



日ポリ化工株式会社

代表取締役社長

**中塚 信二郎**

(なかつか しんじろう)



この度、日ポリ化工株式会社の代表取締役社長に就任いたしました中塚信二郎と申します。平素よりキッチン・バス工業会

員各社の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は、1962年の創業以来ユニットバスの専門メーカーとして、日本における入浴文化の普及と発展に尽力してまいりました。これからも、これまで培ったものづくりの技術を駆使し、新しい時代の入浴文化の創造と普及に邁進し、人々の豊かで健康的な暮らしに少しでも寄与できるよう尽力してまいっている所存です。

キッチン・バス工業会の一員として、微力ではありますが、工業会の発展に貢献できるよう努力してまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしく御礼申し上げます。

## 代表者変更のお知らせ

※社名・団体名五十音順



一般社団法人日本ガス協会

専務理事

**早川 光毅**

(はやかわ こうき)



2021年4月に、一般社団法人日本ガス協会の専務理事に就任いたしました早川光毅でございます。

弊協会は、都市ガス事業の健全な発達を図るとともに、天然ガ

スの普及拡大、エネルギーの安定供給と保安の確保、環境問題への対応を通じて社会的貢献を果たすことを目的とする、都市ガス事業者の団体です。

キッチン・バス工業会様とはこれまで様々な活動で協力・連携をさせていただいております。

また、2006年に住環境に携わる4つの団体で設立した企業団体連合「ウィズガスCLUB」を構成する団体としても、豊かで潤いのある暮らしの実現に向けて、共に活動をさせていただいております。

引き続き、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



一般社団法人日本ガス石油機器工業会

専務理事

**猪股 匡順**

(いのまた まさのぶ)



この度、キッチン・バス工業会の弊会代表に就任しました猪股でございます。

平素より会員各社様には弊会活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

おかげさまで弊会は今年60周年を迎えることができました。

1961年にガス・石油機器製造会社の統一団体として発足し、ガス、石油機器における「製品安全」「需要促進」「省エネ・環境」「標準化」「情報調査」「紛争処理」の6つの事業を柱とし、国民生活文化の向上と業界の発展に貢献できるよう取り組んでまいりました。

この度の新型コロナウイルス感染症が引き起こした新たな生活様式によって、住宅内のより良い生活環境に対する期待が今後ますます大きくなっていくと思われま

す。このような環境のなか、微力ではありますが、引き続きキッチン・バス工業会の皆様と共に生活文化の向上に貢献できるよう努力してまいります。

今後ともご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



一般社団法人リビングアメニティ協会

専務理事

**加藤 永**

(かとう ひさし)



この度、一般社団法人リビングアメニティ協会の専務理事に就任いたしました加藤永と申します。

平素より、会員各社様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当協会は、住宅部品(住宅設備・建材)に関わるメーカー等で構成される団体として、快適な住空間の提供を通じた豊かな住生活の実現を目指し、様々な社会課題に積極的に取り組むこととしています。

なかでも、「2050年カーボンニュートラルの実現」「コロナ禍を経た新しい生活様式への対応」「快適な温熱環境の実現」「家事負担軽減」等の喫緊の課題については、キッチン・バス空間における取り組みが重要と考えています。

キッチン・バス工業会様とは、引き続き連携・協力を密にして取り組む所存です。

今後とも、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

TOPICS

## 「11/2 キッチン・バスの日」記念 第17回 川柳入賞者表彰式典を開催

昨年同様、十分な新型コロナウイルス感染症対策を行い、式典参加人数も抑えて、日本工業倶楽部で開催しました。応募句は、台所・お風呂での様々な思い出や出来事を詠んだもの他に、五輪イヤーに関連したものや、コロナ禍での新しい生活様式、ステイホームという状況変化を題材にしたものが

多く、応募総数は74,289句でした。

式典では、越道常務理事による開会宣言、小泉会長のご挨拶、中山川柳事業専門委員長の経過報告、選者紹介の後、キッチン・バス大賞、準キッチン・バス大賞をはじめ、24の受賞句を表彰しました。



受賞者、来賓、プレゼンターの集合写真(撮影時のみマスクを外していただく)



小泉会長



中山委員長



表彰式会場

TOPICS

## ご来賓の皆様から、ご挨拶をいただきました

内閣府  
子ども・子育て本部  
政策企画調査官  
**鈴木 永 様**



内閣府が行う「家族の日・家族の週間」という取り組みに合った作品として、とても暖かく素敵なお風呂を選ばせていただきました。

コロナ禍ということから、家族団らんの大切さや家庭の中心にあるのは必ずキッチンとバスであるとの思いを強くされたのではないかと思います。このような家族を思う機会を提供していただいている「台所・お風呂の川柳」という素晴らしい取り組みを今後も末永く行っていていただくことを希望します。

経済産業省  
製造産業局  
生活製品課  
住宅産業室長  
**原田 富雄 様**



「台所・お風呂の川柳」事業は家族のコミュニケーションの場所としての台所やお風呂の空間での思い出、出来事、願いなどを川柳にすることで、その役割の重要性を改めて認識し、自らの住生活について関心を持っていただき、新たな住生活の訴求につなげようとするものと考えております。

政府としても貴工業会及びキッチン・バスに関わられる皆様と一体となり、日本の住生活に関わる課題解決に取り組んでいく所存です。

国土交通省  
住宅局  
住宅生産課長  
**宿本 尚吾 様**



本日は年相応のひねりや、キッチン・バスだけに心洗われると言いたかったところですが、酸いも甘いも知り尽くした人生経験豊富な皆様の知性などを感じさせていただきました。

さて、日本人は今や世界一の長寿命で、住宅に住み続けるには高齢期にふさわしいリフォームが必要です。リフォームはキッチンやお風呂をきっかけにすることが多く、キッチン・バス工業会の皆様は、こうした契機をチャンスと捉え、より生活を豊かにして、よりくつろげる場所を作っていく、そういった幅広いリフォームの提案を行っていただければ幸いです。

## 『キッチン・バスの日』の式典を終えて

11月2日(火)恒例のキッチン・バスの日の記念式典が東京・丸の内日本工業倶楽部において行われた。

内容は①小泉会長の挨拶、②「台所・お風呂の川柳」授賞式、③ご来賓挨拶、④神田松鯉先生の講演であった。

例年、川柳の表彰式が賑々しく行われるが、今年も昨年に引き続きコロナ禍のためにやや自粛した内容となった。すなわち懇親会は見送られ、受賞者の招待も首都圏の方々に限られた。

それでも華やいだ雰囲気の中で式典が進められたのは、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言が解除されたあとであったことと、神田阿久鯉先生の名司会によるものと思われる。

川柳事業専門委員会委員長 中山 世一(顧問)

今年にはコロナ禍での生活が上手に詠まれた、「キッチンで旅を楽しむ お取り寄せ」(ペンネーム:ロビンの恋人様)が見事キッチン・バス大賞を受賞した。

選者の代表として一般社団法人ベターリビングの井上理事長がコメントを、受賞者の代表として桂右團治賞のととと様を受賞の感想を述べられた。

また、ご臨席の三行政機関ご来賓より祝辞をいただいた。その後、記念写真撮影、休憩をはさんで、神田松鯉先生(人間国宝、旭日小綬章)の講演「山吹の戒め」を出席者で楽しみ、来年の盛会を願っての解散となった。



中山委員長



司会 神田阿久鯉先生



選者代表 井上俊之様



受賞者 ととと様



神田松鯉先生

## TOPICS

## 受賞者のなかから、4名のコメントをご紹介します

(敬称略)

キッチン・バス大賞 ロビンの恋人

## 「キッチンで 旅を楽しむ お取り寄せ」

受賞作品を思いついたきっかけは、コロナ禍で自由に旅行ができないなか、お家に美味しいものをのお取り寄せして楽しみたいという気持ちから作りました。

また、その地方から届いた食材は、我が家のキッチンまで旅をしてやってきていると想像すると、楽しさも増えるのかなとも思いました。

受賞を知って、とにかく驚きました。キッチンとバスはコロナ禍でより一層大切にしたい場所になっており、たくさんの方が応募されている川柳大賞だと思いますので、自分の作品が選ばれるとは夢にも思っていませんでした。

賞状と賞品をいただき、じわじわと嬉しさがこみ上がっています。

本当にありがとうございました。

日本建材・住宅設備産業協会賞 蛙子

## 「築ごもりが リフォームしろと 背中押し」

今回は思いもよらない素晴らしい賞をいただき、誠にありがとうございました。

夫が毎日のように在宅勤務しながら、築17年の我が家のいろいろなところの不具合や故障を気にしていたので、「家にいる時間が長いんだから、リフォームすれば」と言ったのをそのまま句にしたものです。

実際、壊れたら一番困ると言っていた電気温水器をエコキュートに換えて、キッチンでも洗面でもお風呂でも、安心して、しかも省エネでお湯が使えるようになって、リフォームしてよかったと思いました。

いただいた副賞(SUWADAの高級爪切り)は、爪切りにこだわりがある私としては、とても気に入っています。ありがとうございました。

日本コミュニティーガス協会賞 2度目の東京五輪

## 「台所 母の活躍 無観客」

この度は、「日本コミュニティーガス協会賞」という素晴らしい賞をいただき、誠にありがとうございました。一生に一度あるかないかの出来事で非常に驚いていると同時に、大変嬉しく思っています。

この川柳は、無観客の会場で活躍しているオリンピック・パラリンピックのアスリートの姿を見て、誰も見てない台所で家族のために頑張っていた母親を思い出して作ったものです。そんな母親に感謝し、一生懸命応援したいと思います。

副賞としていただきました「お取り寄せグルメカード」で、母親と一緒にいただける美味しい物を選ばせていただきます。

私の勤務先は、過去には家庭用のガスコンロや業務用のガス器具も製造販売していた会社でした。そういった意味で、日本コミュニティーガス協会さんとはご縁があったのかもしれませんが。なおさら、今回の「日本コミュニティーガス協会賞」がいただけたことが感激です。

貴協会の益々のご発展をご祈念申し上げます。本当にありがとうございました。

排水思源-下水道賞 みかん

## 「流す先 思って拭き取る フライパン」

食べ終わった皿や、使った調理器具の汚れは、そのままシンクに流さず、拭き取ってから洗うようにしています。

排水溝にはネットを二重に付けています。きっかけは、味噌汁一杯を流すと浄化するのに浴槽の水4.7杯分が必要と知ってからです。

日常のキッチンの風景を詠んだ川柳でご縁をいただき嬉しいです。ありがとうございました。

統計情報

2021年度上期 自主出荷統計

調査統計委員会 委員長 垣田 賢(LIXIL)

2021年度上期は、出荷動向先行指標である新設住宅着工戸数は、前年比107.6%とコロナ禍で落ち込んでいた水準からは回復し、消費増税のあった19年度と比べても95.5%と、やや下回る程度で推移しています。

システムキッチン、コロナ禍で落ち込んでいた前年度上期比で102.8%と上回り回復基調。セクショナルキッチンは、前年上期の落ち込みが小幅に留まっていたこともあり、上期計では99.2%と微減で前年並みとなっています。

洗面化粧台は、システムキッチンと同様の動きとなっています。

ですが、上期計では前年比105.8%と回復基調となっています。

システムバスも、上期計では105.6%と前年を上回り、回復基調となっています。

単体浴槽は、上期計で101.9%と前年を小幅ながら上回って推移しています。

今年度上期は、昨年のコロナ禍影響による落ち込みからの回復がみられています。今後も出荷動向の変化を情報共有してまいります。

■ 新設住宅着工戸数

(単位:戸)

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年度計
2019年度		79,389	72,581	81,541	79,232	76,034	77,915	466,692	77,123	73,523	72,174	60,341	63,105	70,729	416,995	883,687
2020年度		69,568	63,839	71,101	70,244	69,101	70,186	414,039	70,685	70,798	65,643	58,448	60,764	71,787	398,125	812,164
2021年度		74,521	70,178	76,312	77,182	74,303	73,178	445,674	78,004						78,004	523,678
前年比		107.1%	109.9%	107.3%	109.9%	107.5%	104.3%	107.6%	110.4%							108.0%

4-10月累計、以下同様

■ システムキッチン(完成品+トップ)

(単位:台)

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年度計
2019年度		102,274	98,308	106,614	117,705	101,602	119,096	645,599	110,198	116,735	114,809	99,802	115,297	117,091	673,932	1,319,531
2020年度		89,077	80,757	101,055	101,255	85,570	100,584	558,298	104,946	104,748	108,278	90,503	106,918	109,997	625,390	1,183,688
2021年度		93,728	85,201	100,592	101,036	89,917	103,730	574,204	103,760						103,760	677,964
前年比		105.2%	105.5%	99.5%	99.8%	105.1%	103.1%	102.8%	98.9%							102.2%

■ セクショナルキッチン(完成品+トップ)

(単位:台)

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年度計
2019年度		32,760	31,679	30,267	34,053	30,634	34,105	193,498	33,456	33,783	32,335	33,488	36,874	37,485	207,421	400,919
2020年度		32,048	27,316	31,482	35,081	29,816	31,895	187,638	36,536	33,663	32,380	29,359	34,794	37,557	204,289	391,927
2021年度		32,624	27,264	33,094	32,016	29,004	32,184	186,186	33,139						33,139	219,325
前年比		101.8%	99.8%	105.1%	91.3%	97.3%	100.9%	99.2%	90.7%							97.8%

■ 洗面化粧台

(単位:台)

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年度計
2019年度		142,435	134,459	142,110	162,132	137,805	173,125	892,066	149,390	150,735	151,807	139,481	159,232	161,564	912,209	1,804,275
2020年度		127,662	110,208	138,831	146,324	122,409	140,262	785,696	151,322	149,841	155,274	135,290	150,867	159,960	902,554	1,688,250
2021年度		141,923	124,061	144,694	143,328	128,289	149,353	831,648	149,370						149,370	981,018
前年比		111.2%	112.6%	104.2%	98.0%	104.8%	106.5%	105.8%	98.7%							104.7%

■ システムバス

(単位:台)

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年度計
2019年度		119,836	114,575	126,312	135,405	116,244	129,284	741,656	133,404	131,677	124,532	110,796	119,126	115,305	734,840	1,476,496
2020年度		102,425	90,184	108,463	109,515	96,654	109,651	616,892	124,061	118,585	118,861	101,056	104,949	113,618	681,130	1,298,022
2021年度		109,146	101,586	114,520	114,414	99,207	112,598	651,471	122,892						122,892	774,363
前年比		106.6%	112.6%	105.6%	104.5%	102.6%	102.7%	105.6%	99.1%							104.5%

■ 単体浴槽

(単位:台)

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年度計
2019年度		12,191	10,432	9,943	11,628	9,306	11,729	65,229	11,083	11,387	10,820	10,908	10,879	10,946	66,023	131,252
2020年度		9,425	8,377	9,707	9,795	8,198	9,631	55,133	11,690	10,216	9,593	9,407	10,352	10,581	61,839	116,972
2021年度		9,789	8,848	9,876	9,586	8,683	9,377	56,159	10,135						10,135	66,294
前年比		103.9%	105.6%	101.7%	97.9%	105.9%	97.4%	101.9%	86.7%							99.2%





## 会員情報

### 創業100周年

当社は2020年9月1日に、創業100周年を迎えました。お取引先の皆様、関係者の皆様のご支援、お引き立ての賜物と厚く御礼申し上げます。2人の創業者、内藤秀次郎と林兼吉が見よう見まねで形にした林内式石油ガスコンロ。そのチャレンジの原



## Rinnai

### リンナイ株式会社

動力となった情熱が、当社の出発点です。今後も、これまでの歴史を築いてきた先輩諸氏の情熱を継承し、人々の健全で心地よい暮らしの実現に向け、チャレンジを続けてまいります。

### 創業80周年

2021年12月、富士工業はおかげさまで創業80周年を迎えました。

お客様、お取引先様をはじめ、すべての皆様へ心より感謝を申し上げます。

創業以来、「ものづくり」にこだわり続け、1973年には念願の自社製品「レンジフード」の開発・製造に着手しました。今では、このレンジフード事業が日本ナンバーワンのシェアをいただくまでに成長することができました。

2018年からは、海外で長年育んできたブランド“FUJIOH”をコーポレートブランドに進化させ、国内外に展開しております。“100年企業”という次なるステージへ向けて、グローバルオンリーワンのブランドとなれるよう、さらなる飛躍を目指し



## -FUJIOH-

### 富士工業株式会社

ております。

私たちFUJIOHは、「空気を変え、環境を変え、明日を豊かに変えていく」をビジョンに掲げ、これからも、あらゆる限界を超えて“豊かさの実現”に挑戦してまいります。

新生FUJIOHに、より一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



### 創業75周年

この度、丸一株式会社は創業75周年を迎えることができました。これもひとえに工業会会員各社様からのご指導、ご協力いただいた賜物でございます。感謝申し上げます。

さて、コロナ禍の収束には未だ至りませんが、排水トラップの封水保持がウイルスなどの感染症対策の一つといわれています。ご家庭や職場で普段使用されていない水回り設備があれば、すぐにコップ一杯の水を排水口に注いでください。それだけで嫌な臭いを防いで感染症リスクの低減にもなります。



今後も排水分野で皆様のお役に立てるよう努めてまいりますとともに、一刻も早い「新たな日常」が過ごせることを心待ちにしています。



## 創業70周年

1951年3月10日。ノーリツは「能率風呂工業株式会社」として神戸で創業しました。「お風呂は人を幸せにする」という創業の原点には、日本の風呂文化を広めるとともに、人々の生活水準を向上させたいという思いが込められています。戦後の創業時は「りんご箱1箱(木箱)で、上下均等に沸き上がり、保温効果で湯がさめない専売特許の風呂釜」と能率風呂を販売し、ノーリツの歴史がスタートしました。

創業以来、当社は「業界初」となる数々の技術開発によって人々の生活に貢献してきました。そして、今年、70周年を迎えました。これまでにお風呂や生活に欠かせないお湯だけでな

新しい幸せを、わかすこと。

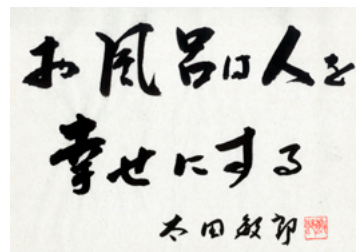
**NORITZ**

## 株式会社ノーリツ

く、生活を豊かにする厨房・暖房機器などの製品を世に送り出してきました。

これからも、創業の原点を忘れることなく、当社グループミッション「新しい幸せを、わかすこと。」を実現してまいります。

今後とも、変わらぬご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



創業の原点

### — ご案内 —

K・B通信では、創業・設立を記念の年として迎えられる会員様をご紹介します。該当される会員様は、キッチン・バス工業会までご連絡ください。

## 会員企業はスポーツでも、頑張りました！

2021年、コロナ禍にあり、工業会会員の企業チーム・社員選手は、複雑な思いを抱きつつ、大会出場を決意し挑みました。その姿は、所属企業はもとより、観戦者の皆様の心に、これまで以上に刻み込まれたことでしょう。本誌では、事務局からの掲載依頼に了解いただいた企業チーム・社員選手を紹介いたします。

### 大阪ガス株式会社 硬式野球部 社会人野球日本選手権優勝



7月14日の決勝戦におきまして、三菱重工East様を4-2で破り、史上3チーム目の快挙となる、二大会連続の優勝を達成いたしました。コロナ禍による様々な制限の中、キッチン・バス工業会の会員様をはじめ、関係者の皆様の応援が選手の力となりました。誠にありがとうございました。その勢いのままに、11月28日から開催される「都市対抗野球」の出場権も獲得しました。引き続きの応援をお願い申し上げます。

### 東京ガス株式会社 競泳 木村 敬一(きむら けいいち)



#### ■ 主な戦績

ロンドン2012パラリンピック競技大会

**銀メダル・銅メダル**

リオ2016大会

**銀メダル2つ・銅メダル2つ**

東京2020パラリンピック競技大会(競泳・視覚障がいクラス)

**100mバタフライ 金メダル**

**100m平泳ぎ 銀メダル**

**200m個人メドレー 5位入賞**

#### ■ コメント

東京2020大会では目標としていた悲願の金メダルを獲得することができました。初めて出場した北京大会から4度目の挑戦で、ようやくたどり着いた頂は、言葉では言い表せないほど幸福な場所でした。今回の栄誉は、多くの方々の支えがあってこそだと思っています。たくさんの応援をありがとうございました。

## 株式会社LIXIL パラバドミントン 長島 理(ながしま おさむ)



©富取正明

## ■ 主な戦績

2019世界選手権(スイス)

男子ダブルスWH1-WH2 銅メダル

2021スペイン国際大会

シングルス ベスト8

東京2020パラリンピック競技大会

シングルス男子WH1クラス 5位入賞

## ■ コメント

コロナ禍でパラリンピックの開催可否を見通すことができず、また開催されても出場ラインギリギリだったので、精神的に厳しかったというのが本音です。しかし、最終盤で出場権を獲得でき、5位入賞を果たせました。

無観客でしたが試合中継を見ていただくなど、社員をはじめ多くの方々に支えられていることを実感できた大会でもあります。

## クリナップ株式会社 レスリング女子76kg 皆川 博恵(みながわ ひろえ)



## ■ 主な戦績

2019年 世界選手権

女子76kg 準優勝

2020年2月 2020年アジア選手権

女子76kg 優勝

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

女子76kg 5位

## ■ 事務局より

マットに立ち、全力で戦う姿が素敵です。考えて挑み出し切る！感動をありがとうございました。

## 第92回都市対抗野球で東京ガス株式会社が優勝！

東京ガス株式会社硬式野球部、東邦ガス株式会社硬式野球部、大阪ガス株式会社硬式野球部、西部ガス株式会社硬式野球部が、第92回都市対抗野球大会(11月28日～12月9日)に出場されました。

12月9日、東京ドーム決勝戦。東京都代表として3年ぶり出場の東京ガス株式会社様VS熊本県大津町代表のHonda熊

本様。東京ガス株式会社様は、初回に得点、中盤にも追加点を上げました。終盤Honda熊本様も1点差まで追いつきましたが、6-5で勝利！

「氣～エネルギーで変革を起こせ！～」事業とスポーツの一体感が伝わるスローガンの実践で初優勝されました。おめでとうございます。

## 団体会員情報

## 第10回「住宅部品点検の日」シンポジウムを開催

テーマ：人生100年時代、長く快適に住まうためには  
～みんなに知ってほしい点検の大切さ～

リビングアメニティ協会(以下「ALIA」)は、第10回目となる「住宅部品点検の日」シンポジウムを東京大神宮マツヤサロン五十鈴の間を会場として、新型コロナウイルス感染症対策のため、Zoomウェビナーによるオンライン配信で開催しました。

ALIA加藤専務理事が開会の挨拶を行った後、来賓の国土交通省住宅生産課長 宿本尚吾氏からオンラインを通じてご挨拶いただき、住宅行政の動向と住宅部品の点検についてお話をいただきました。

今回も一般消費者の聴講を意識し、ALIAがどんな活動を行っている団体か知っていただくため、調査研究内容や住宅部品の点検活動について、当協会の消費者・制度部会長の柴崎和彦氏、住宅部品点検推進部会長の近藤秀介氏より活動報告が行われました。

続いて、消費者庁長官 伊藤明子氏より「令和時代の住まいの点検」と題して、消費者庁設立の背景から消費者相談の現状、今後の住まいに必要な点検など、示唆に富んだ内容で講演いただきました。

パネルディスカッションでは、「人生100年時代に向けて、点検の大切さを伝えるには」をテーマに、パネラーは消費者側の意見に力点を置き、消費者団体、ビルダー団体、製品安全の観点から独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)、ALIAの構成で行われました。

コーディネーターの明治大学名誉教授 向殿政男氏から昨年の結論が紹介され、登壇者から自己紹介とテーマに沿った

一般社団法人リビングアメニティ協会 事務局長 中村 覚

プレゼンテーションが、一般社団法人日本住宅リフォーム産業協会 会長(株式会社ゆめや 代表取締役) 盛静男氏、公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 標準化委員会 委員長 釘宮悦子氏、NITE 製品安全センター 課長 三浦範大氏、ALIA住宅部品点検推進部会長 近藤秀介氏の順で行われました。そして向殿氏から「消費者に点検してもらうにはどのようにしたらよいか」「人生100年時代における点検の必要性はあるか」「悪徳業者をなくすには」「メーカーと消費者間におけるALIAの役割」等の課題が出され、それぞれの視点から活発な意見交換が行われました。

最後に向殿氏から、「消費者もある程度は学習する必要があるが、消費者に向けて点検や信頼できる情報発信が重要である。メーカーから消費者へ正しい情報が伝わるようALIAがハブ的な役割を担い、ビルダー団体や消費者団体、行政も含めてみんなが情報コミュニケーションしていく仕組み作りこそが重要だ。そして人生100年時代を迎え、次の世代に引き継ぐため、点検により資産価値を上げるという点検文化を醸成していくことが重要である」とまとめていただきました。

またシンポジウムの閉会の際、安全学の第一人者であり、長年ALIAにご尽力いただいている向殿氏が、本年4月に2021年春の叙勲・褒章で瑞宝中綬章を受章されたことを受け、ささやかながらお祝いとしてお花を贈呈させていただきました。



基調講演の様子



ソーシャルディスタンスを確保して行われたパネルディスカッション

## 暮らし創造研究会制作冊子「GOOD LIFE」のご紹介

暮らし創造研究会事務局 日本ガス体エネルギー普及促進協議会 辻 優輝

ヒートショック対策等の観点から浴室の温熱環境についての研究結果をまとめた、暮らし創造研究会制作冊子「GOOD LIFE」をご紹介します。

暮らし創造研究会において、ヒートショック対策の観点での研究として、入浴時の脱衣室・浴室・浴槽のお湯の温度条件を変え、高齢者の血圧、脈拍がどのように変化するか等を調査し、以下のような結果が得られました。

- 脱衣室・浴室が暖かい方が、最高血圧の変動幅が小さかった
- 脱衣室・浴室が暖かく浴槽のお湯がぬるめの方が、脈拍数が低く変動幅も小さかった



「GOOD LIFE」表紙

浴室暖房で脱衣室・浴室を暖めることの重要性を示すこの調査結果を、冊子「GOOD LIFE」にまとめました。

ヒートショックへの認知が広がり、現行住生活基本計画には、「ヒートショック対策等の観点を踏まえた良好な温熱環境を備えた住宅の整備、リフォームの促進」と記載されるなど、浴室暖房により温熱環境を整えることの重要性が理解されやすい環境になってきています。

お客様への、温熱環境や浴室暖房の重要性の理解促進に向けた資料として「GOOD LIFE」をご活用いただければ幸いです。

なお、冊子(印刷)での活用をご希望される方は、事務局までご連絡いただければご提供いたします。

### ■ 連絡先

日本ガス体エネルギー普及促進協議会事務局  
(一般社団法人日本ガス協会 普及部業務推進グループ内)  
辻 優輝 [tsuji.yuki@gas.or.jp](mailto:tsuji.yuki@gas.or.jp)

### ■ 暮らし創造研究会について

暮らし創造研究会は、暮らしにおける「健康・快適」「安全・安心」「省エネ・省CO2」を推進するための適切な設備と暮らし方の研究、その成果の普及を目的として活動しています。

「GOOD LIFE」のほかにも温熱環境に関する冊子やリーフレット、動画等をホームページで公開しております。無料で閲覧いただけますのでぜひご活用いただければ幸いです。  
(キッチン・バス工業会様に、暮らし創造研究会に参加いただいております)

### ◆ 暮らし創造研究会HP

<https://kurashisozo.jp/index.html>

※上記URL中段の「開発ツール」に

パンフレットやリーフレット、動画等を掲載



暮らし創造研究会HP  
QRコード

### ◆ 「GOOD LIFE」掲載ページ

[https://kurashisozo.jp/img/effort/good\\_life.pdf](https://kurashisozo.jp/img/effort/good_life.pdf)



「GOOD LIFE」掲載ページ  
QRコード

## 行政情報

各種行政情報については、これまでも会員の皆様には総括責任者様を通じて、都度情報発信させていただいており、特に重要な内容に関しては、各委員会での活動内容とともに、

K・B通信でもご紹介しております。K・B通信では、過去半年の行政関連情報について、ご紹介しきれていない内容も含め、皆様にあらためて整理してお知らせします。

2021年11月26日 国土交通省 **こどもみらい住宅支援事業を創設します!**

[https://www.mlit.go.jp/report/press/house04\\_hh\\_001053.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001053.html)

子育て世帯・若者夫婦世帯の住宅取得に伴う負担軽減を図るとともに、省エネ性能を有する住宅ストックの形成を図るため、子育て世帯・若者夫婦世帯による高い省エネ性能を有する新築住宅の取得や住宅の省エネ改修等に対して補助金を交付する「こどもみらい住宅支援事業」を創設します。

年月日	関係省庁など	内容関連リンク先	掲載対象期間:2021年6月1日~11月30日
2021年 11月 19日	新型コロナウイルス感染症対策本部	新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針 <a href="https://corona.go.jp/expert-meeting/pdf/kihon_r_031119.pdf">https://corona.go.jp/expert-meeting/pdf/kihon_r_031119.pdf</a>	
2021年 11月 10日	国土交通省	貨物自動車運送事業者の適正な運賃収受のための周知について <a href="https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_mn4_000011.html">https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_mn4_000011.html</a>	
2021年 10月 21日	経済産業省	再エネ価値取引市場の開設について <a href="https://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/electric/nonfossil/page/20211021.html">https://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/electric/nonfossil/page/20211021.html</a>	
2021年 9月 30日	経済産業省	フィジカルインターネット実現会議 <sup>※</sup> について <small>※物流情報の各種標準化を通じた物流効率化を目指す考え方</small> <a href="https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/physical_internet/index.html">https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/physical_internet/index.html</a>	
2021年 6月 1日	国土交通省	グリーン住宅ポイント制度関連情報(逐次) <a href="https://greenpt.mlit.go.jp/">https://greenpt.mlit.go.jp/</a>	

## 委員会活動

### 2021年室内環境学会学術大会に参加しました

室内空気環境専門委員会 委員長 山王 玲子(永大産業)

室内空気環境専門委員会は、12月2日(木)~3日(金)の2日間、京都で開催された室内環境学会学術大会に参加しました。

これまで通常委員会はweb開催でしたが、ようやく移動委員会が実施できる状況となり、久しぶりに8名の委員が集まりました。

今回は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一部の発表・聴講がオンラインで行われ、また発表テーマにおいても「COVID-19」というキーワードが数多く見られたのが印象的でした。

初日は「地球温暖化対策と室内環境イノベーション」というテーマでシンポジウムを聴講しました。2050年カーボンニュートラルの実現

に向けて、都市や街区単位での脱炭素化への取り組みが必要であることや、健康・ウェルネスと省エネの視点から住まいの断熱性能を上げることの重要性、また、心理的側面から考える室内環境研究など、興味深い講演が行われました。

2日目は、各自が興味のあるテーマの口頭発表を聴講しました。環境、健康、生体、快適性など室内環境に関わる様々な分野について最新情報を聞き、それぞれ知見を広めることができ、有意義な移動委員会となりました。



会場正面(京都リサーチパーク)



会場ロビーにて参加メンバー同



会場中庭の紅葉

## VOICE

## 石綿調査及び2022年4月からの調査結果の報告義務スタートは、ビジネスと人権の観点から取り組みたい



弁護士 秋野 卓生  
(弁護士法人匠総合法律事務所)

建設現場でアスベスト(石綿)を吸って健康被害を受けた元建設作業員や遺族らが起こした4件の損害賠償訴訟で、最高裁第1小法廷(深山卓也裁判長)は2021年5月17日、国が対策を怠ったと認定し、国の賠償責任を認める統一判断を示しました。

最高裁は「国は1973年ごろには建設作業員に石綿関連疾患の危険が生じていることを把握できた」と指摘し、石綿関連の規制が強化された1975年10月から、含有建材の規制が厳格化される前の2004年9月までの間、保護具着用の義務付けといった規制権限を国が行使しなかったことを「著しく合理性を欠き違法だ」と結論づけました。

政府は判決を受けて、原告に最大1300万円の和解金を支払うことなどを柱とする救済策を設ける方針を決定し、あわせて2021年6月9日、被害者への給付金制度を創設する法律を成立させ、1人あたり550万円から1300万円の給付金を支払うこととしました。

莫大な金額の税金が過去の失政の代償として使われることとなります。

最高裁で、国及びメーカーの責任が明確に認められた訳ですから、現時点において、建設労働者をアスベスト被害から守る安全配慮義務を果たすことは、住宅業界の皆様にとってマストの義務になります。

ところで、石綿の製造や使用は禁止されていますが、使われている建物の解体やリフォーム時に吸引する危険が残ります。

このリフォーム時における石綿対策について、2020年、大気汚染防止法、石綿予防規則など、石綿関連の法律が一斉に改正になりました。

実際、2021年4月から石綿調査義務は、改正法が施行されていますが、「知らない」といった住宅会社も多いようです。

これまでのリフォーム業界は、石綿含有リスクを認識しながら、調査をせず、その結果、建設労働者に対して健康被害リスクを与えてきた訳ですが、改正法施行により調査を実施しなければ、そもそも法令に違反した安全配慮義務違反となります。

石綿調査をすれば、調査代金がかかることはもとより、石綿が発見された現場では、石綿対策というコストをかけてリ

フォーム工事をしなければなりません。

このコストをケチって「石綿を見ざる・聞かざる」といった悪しき対応(調査しない)をする住宅会社、リフォーム業者もきっと出てくることでしょう。

しかし、悪しき慣行は一掃し、健全で持続可能な住宅業界であるためにも改正大気汚染防止法、改正石綿予防規則には、前向きに取り組んでいただきたいと思います。

次に、石綿関連の法改正対応は、「ビジネスと人権」という観点から、業界全体的に取り組んでいくべき課題であるということ意識していただきたいと思います。

2020年10月16日、政府は、「ビジネスと人権」に関する行動計画(2020-2025)を発表し、関係府省庁が個別に実施してきた人権の保護に関する措置を「ビジネスと人権」の観点から整理し、関係府省庁の政策の一貫性を確保することを「優先分野」としました。

今回の石綿関連法改正も厚生労働省、環境省、国交省など複数の関係府省庁が関与していますが、「ビジネスと人権」に関する行動計画に基づき、建設労働者の安全配慮義務を果たすという観点から、中間商流の商社・メーカーにおいても石綿調査を実施しない元請業者の現場の仕事は受注しない(契約しない)という態度を明確に示すか、建設労働者を保護するために、商社・メーカーにおいて、調査を実施する対応を取るべきであろうと思います。

石綿調査及び2022年4月からの調査結果の報告義務スタートは、リフォーム代金の高額化といった施主、元請業者ともに「面白くない」法改正かもしれません。

しかし、「ビジネスと人権」を意識し、建設労働者の安全を確保することこそ、住宅業界の持続可能性(SDGs)を果たす意味でも重要である(建設労働者の安全を脅かす人権侵害が今後も進めば、建設労働者になりたいと思う若者は不存在となるでしょう)と考えていただき、「人権侵害リスクを発生させる企業とは契約しない」「人権侵害を生じかねない商流には関与しない」という不退転の決意を大手建材商社、大手住設機器メーカーは示し、また、ビジネスと人権の観点から、知識不十分なリフォーム業者等への啓蒙活動に努めていただきたいと思います。



## 事務局から

常務理事 越道 昭徳

長引く新型コロナウイルス感染症は、一進一退の様相を呈し、足掛け2年の長きにわたり、我々の日常の行動(生活)を大きく変容させています。

工業会活動においても、Web開催での委員会が主流となり、移動委員会や懇親会など、委員相互のリアルでのコミュニケーション活動は、断念せざるを得ない状況です。

しかし、コロナ禍改善への策も次々に打たれ、昨年の同時期とは大きく異なる状況にもなっており、コロナワクチン接種者の増加や治療薬の開発が進められています。

既に11月時点では、日本国民の75%(中高年者を中心として)が2回接種を完了し、年末からは3回目の接種も開始されるなど、集団免疫への期待がさらに高まります。

効果的なワクチン接種や医療現場での治療薬の活用などにより、一日でも早い通常委員会の開催や会員の皆様が一堂に会したリアルでの賀詞交歓会や総会等を実現したいものです。

今回の事務局からは、前回に続き、事務所周辺、浜松町界隈の様子をお届けするとともにコロナ禍での所感をお伝えします。

## 変わりゆく街、浜松町

### ■浜松町駅周辺の再開発工事進む!!

世界貿易センタービルの改築や新たなモノレール駅舎等を中心とした、浜松町駅周辺の再開発工事は順調に進んでおり、中央改札口から直進する南棟は、既に新しいビルに建て替わり、センタービルから移築された金融機関等は業務を開始しています。

一方、我々と馴染みの深いセンタービル棟(中央改札に直結、地下飲食店街があった建物)は、内装などが撤去され、建物自体の解体も間近の様子です。

2026年の新しいビルの竣工までは、まだまだ待ち遠しい日々が続きますが、生まれ変わった新しいビルは、きっと新たな浜松町の顔として君臨することでしょう。



解体間近のセンタービル



新装の南棟ビル



浜松町駅関連の改良工事

## コロナ禍に想う

### ■野城教授へのインタビューから

本号に特集として掲載の「東京大学野城教授へのインタビュー」の中で、掲載記事に加え、感じたことを少しだけお伝えします。

インタビュー中、教授は随所で「協業」「協同」というワードを引用され、ご説明されていました。このワードが、特に私の心に響きました。

もちろん個人や一企業でもできることは沢山ありますし、レベルの高い商品提案なども可能だと思います。しかし、使う側の消費者目線で考えるとどうなのか？

これまで私は、常に作り手(メーカー)の視線で物事を考え、一企業での発想が限界だと自分で勝手に線を引いていたのではと真摯に反省いたしました。

この意味で、工業会活動は「協同」の絶好の場だと思います。

委員会活動での会員相互の意見交換や懇親時の会話の中から、プラスαの発想が生まれ、場合によっては「協業」という形に発展する可能性もあり得ます。

今はコロナ禍でもあり難しい状況ではありますが、ぜひ、工業会活動を有効かつ積極的にご活用ください。

**No.22 編集委員**

発行責任者：神谷 剛志(ナスラック)

編集長：柴崎 和彦(クリナップ)

編集委員：石井 博之(渡辺製作所)

大崎 和美(東京ガス)

佐藤 哲(トクラス)

白居 陽子(三菱ケミカル・クリンスイ)

中島 宏文(タカラスタンダード)

長瀬 秀明(ノーリツ)

平川 武(ノーリツ)

藤田 東一(LIXIL)

藤野 豪洋(積水ホームテクノ)

松本 賢治(TOTO)

越道 昭徳(事務局)

田中 朋子(事務局)

**東京タワーは 光の朧や 冬木立**

朋

**編集後記**

当初予定より1年遅れの上、無観客での開催となった「東京2020オリンピック・パラリンピック」。56年ぶりとなるはずだった東京大会そのものの開催を危ぶむ声もあったものの、日本代表のみならず日頃の厳しい鍛錬を積んで参加したアスリートたちの真剣に勝負に望み活躍する姿に改めて多くの感動と勇気をもらいました。

さらにはボランティアをはじめスタッフの方々の努力によって、この世紀の祭典がコロナ禍でありながらも開催し終了できたことに感謝するとともに、ほっと胸をなでおろしたというのが私たちの今年の印象ではないでしょうか。

そして、今年忘れてならないアスリートが一人。夢を与えてくれた大リーガー大谷選手。不可能と思われていたことに挑戦し可能にした二刀流の大活躍は、厳しい状況下での明るい話題となつて、川柳にも多く「二刀流」の言葉を目にする事となりました。

さて、まだまだ新型コロナウイルス感染症の脅威が続く状況下、来年はどうなるのでしょうか。先のことは分からぬとも、皆が希望と勇気をもって一步一步前に進めば乗り越えられないことはない。そんな思いで明日へ向かっていきたいものです。

広報専門委員会 委員 佐藤 哲(トクラス)

JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN &amp; BATH

**キッチン・バス工業会**

工業会のホームページは情報の宝庫です！

キッチン・バス

検索

<https://www.kitchen-bath.jp/>

発行日：2021年12月20日

発行責任者：広報専門委員会 委員長 神谷 剛志

『K・B通信』に関するお問い合わせは下記Eメールへお願いします。

Eメール：[kitchen.bath@nifty.com](mailto:kitchen.bath@nifty.com)